

Abram Hoffer (エーブラム ホッファー) 医師、医学博士
分子生物医療のパイオニア

世界中で、**Dr** ホッファーほどビタミン、ミネラル、栄養素をもって治療の実績をあげた医師はまれでしょう。この50年来、益々脚光を浴びる栄養医療の分野で彼ほどこの分野のパイオニアであり大きな貢献をした方はいません。彼の成果は何百もの執筆と数多くのレクチャーに示され認知されています。

85歳を迎える **Dr** ホッファーは未だに頭脳明晰で毎週4日間治療と診察にかかわる傍ら執筆とレクチャーの用意に励んでいます。彼の専門は精神化ですが、患者の中には癌の専門医からの紹介で何百人もの癌患者も含まれます。

Dr ホッファーは1964年米国精神分裂症協会を設立、1968年に、今日35周年を迎えるカナダ統合失調症基金を設立しました。おかげでカナダトロントに本拠を置くこの基金は統合失調症、そして類似の症状に関する予防と治療に関するメディカルエデュケーションを数多く発信することができました。

Dr ホッファーの著書の一つ “**How to live with Schizophrenia - 統合失調症とどのように生きていくか**” は二つものノーベル賞を受賞したリーナス・ポーリンの強い関心を引き、1968年 “**Science** 誌” に執筆した記事に “**Orthomolecular** 分子生物学” という言葉を出しました。

Dr ホッファーと共にリーナス・ポーリンは分子生物治療が癌に及ぼす良い成果を数多く執筆しました。

50年間に及ぶ治療と研究の過程で、**Dr** ホッファーは栄養学に関する考え方の変化を感じてきました。**Dr** ホッファーは一度たりとも勇気あるビジョンと新しい考えに対するオープンさを失った事はありません。

精神科における分子生物学の実績 (**Merrily Manthey MS** のレポート - 1997年 “**Choices**” に掲載)

Dr ホッファーは1950年代以来、分子生物治療をもって5000人の急性統合失調症患者を治療し、これを2年間継続した患者の90%が治った。慢性的症状の患者も成果は出るが、時間がかかるとの事であった。

又、最近患者の中で7年間以上統合失調症を患い、すべての通常治療で改善しなかった27名の患者で、その後10年間 **Dr** ホッファーの分子生物治療を継続した患者の中で17名が良くなったという実績が発表された。

Dr ホッファーは分子生物トリートメントは統合失調症に対する、今日では最善の治療方法で、今後これを更に改善するため多くの学会がこのトリートメントを見直してくれる事を希望するとの事です。